

しん かい ちょう やす なが しん いち

新会長に安永信一さん

ノエステ 連合総会



新会長の安永氏

白石さん12年務め勇退

皇室「もう動き始めた」

ノエステ連合日伯文化協会の定期総会が3月6日、アラサーバ日伯文化協会で行われた。新会長にピリグイの安永信一氏(68、二世)が就任、6期12年間の会長を務めた白石一資氏(81、二世)は勇退した。移民110周年が2年後に迫り、聖州地方部への皇室の来伯が期待されている中、移民の故郷ノエステの顔として、新会長の手腕が問われている。

総会は午前9時に開始、傘下30団体のうち、27団体から約130人が出席した。呉屋春美、ブラジル日本文化福祉協会、飯屋ワルテ、ジナ市の小野秋夫、ジャミル市長ら日系政治家も多数出席した。役員改選には、安永氏とリンス文化体育協会長の松浦秋雄氏が立候補した。

白石氏は「110周年に同様に皇室来伯を迎える運動に際して、既に実現に向けて話し合いを進めている。これから忙しくなる」と期待に胸を膨らませた。後進に未来を委ねた白石氏は、「移民百周年祭の委員としてブラジリアでの式典に参加した頃が特に印象深い。110周年に皇室をお迎えすることに期待している。早くの準備が必要。会館の改築など出来ることは今の内に進めていかなければ」と釘をさした。

15年度の事業報告では、平野植民地、アグア・リンバの両入植100周年式典、上塚周平80周年忌法要、ピリグイ

日系陶芸家の足跡たどる

「プロの手で映像化すべき偉業」

「ブラジルにおいて、陶芸の歴史は日本人が作った」と、島根在住の陶芸家・橋本白道さん(本名・丸男、65)が、今年1月8日に来伯し、3カ月かけて日系陶芸家の足跡を辿っている。代表的な陶芸家を訪ね、インタビュー映像を

記録、ブラジルの日系陶芸家は高齢になってきているが、今ならまだ間に合う。プロの手で、映像として記録を残しておくべきと訴えた。さらに「各地を回って学校では映像を学び、ドキュメンタリー作家としての顔も持つ。現在は島根を拠点に陶芸活動を



生駒さんと橋本さん

らに話を聞いた。日本では少なくなっている登り窯、斜面に沿って階段状に焼成室を並べる窯も20以上見つけた。陶芸の隆盛を示すものもあり、「南米ではブラジルが陶芸のトップランナーだが、それは日本人のおかげ」と語る。しかし跡を継ぐ人がいない工房もあれば、高齢で体調が良くない人も多く、故人となった陶芸家の映像化するならば急ぐべきだと訴えた。「第一人者である鈴木章子さんがブラジルで焼き物を始めて半世紀が過ぎた。区切りとしてちょうどいい」と話し、「日本政府の文化関係機関やNHKなどで取り上げるべき



来社した筑波大学の学生たち

「移住者はこの苦労を日常的に経験しているのでは」と、日本の日系伯人の手助けをしたいと思うようになったという。

「真の多様性学んで」

筑波大から研修生が来伯

筑波大学のブラジル海外短期研修生8人が2月26日に来伯。日系三世のウラノ・エジソン准教授が研修生を引率し、8日までサンパウロ総合大学(USP)で社会学や人類学の授業を受けたほか、コチア青年の胡蝶蘭栽培所を見学するなど、日系社会との

交流も行った。新興国における地域専門家を養成するプログラム「浅水杏奈さん(教育学、修士2年)は、教育研究科修士2年)は、日本からブラジルに帰国した小中学生の再適応について修士論文を書いた。今後、サンパウロ人文科学研究所の研修生に応募し、伯国の教育に

「移住者はこの苦労を日常的に経験しているのでは」と、日本の日系伯人の手助けをしたいと思うようになったという。

大耳小耳

筑波大学は海外から留学生を募集する事業「S T U S Y in J A P A N」を展開中。海外から優れた学生を受け入れることで大学教育の質を高めることが目的で、伯

国では日系三世のウラノ・エジソン准教授が担当となる。11日午後2時からサンパウロ総合大学(USP)で、14日午前10時からブラジリア大学(UNB)で説明会を開催。日本で勉強したい学生には絶好の機会だ。問合せは担当窓口(Saopaulo-office@tsukuba.ac.jp)まで。

「大耳小耳」の企画は、井花生代表が主催する「記憶」吟句と氏名に振り仮名を記入。締切は5月30日。未発表の課題吟・自由吟合わせて1人3句(課題吟のみ3句、自由吟の小切手の場合は「11」必着、投句料25レアルを投句と一緒に送付。締切は5月30日。大会開催日は9月10日(土曜日)午前8時受付9時開始。会場は同州ロンドリーナ西本願寺会館(Rua Porto Alegre, 600 - Centro, Londrina)。

n kenko hirose 健康食品
プロポリス・アガリクス専門店
日本への発送もしております。
Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
(ハロン・デ・イグアペ街とガルボン・アエノ街の角)
Tel: (11) 3271-5608 ● Fax: (11) 3271-5716
E-mail: kenkohirose@uol.com.br

いろんな痛みと病気に**鍼灸 ACUPUNTURA**
Dra. MONICA Y. MORISHITA 電気鍼療法 もぐさ レーザー
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura
大学院で鍼灸学を専攻いたしました 磁石による治療
LOCAL: **Rua Thomaz Gonzaga, 95-M (Iwate-kenjinkai)**
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
contato: (11)99236-3956 (11)2639-0572
E-Mail: monicamorishita@yahoo.com.br

VIAÇÃO GARCIA
Diminuindo Distâncias. Aproximando Pessoas.

LONDRINA / SÃO PAULO				SÃO PAULO / LONDRINA			
Saída	Frequência	Chegada Prevista		Saída	Frequência	Chegada Prevista	
13:00hs.	Diário	19:35hs.	Double Class	10:30hs.	Diário	17:40hs.	Double Class
23:00hs.	Diário	05:35hs.	Double Class	15:00hs.	Diário	22:55hs.	LD
23:40hs.	Diário	06:15hs.	LD	23:00hs.	Diário	05:35hs.	Double Class

MARINGÁ / SÃO PAULO				SÃO PAULO / MARINGÁ			
Saída	Frequência	Chegada Prevista		Saída	Frequência	Chegada Prevista	
22:30hs.	Diário	06:45hs.	LD	21:45hs.	Diário	06:00hs.	LD

INFORMAÇÕES: 0800 400 70 90
www.viacaogarcia.com.br

ニッケイ新聞最新刊
「日本文化」
CULTURA JAPONESA

日本語学校の生徒、日本文化に興味を持つブラジル人、子や孫、家族縁者の伯人に贈ってください。きっと日本を見る目が変わります!

本紙土曜日に好評連載中の『国際派日本人養成講座』が本に

日本人の心、日本文化の真髄に触れる 5話を収録 ★新聞未掲載分含む★

- 『国柄は非常のときに現れる～東日本大震災と「奉公」』
- 『井上毅～有徳国家を目指して』
- 『アインシュタインの見た日本』
- 『おなごは大黒柱を支える大地』
- 『老舗企業の技術革新』

日本移民の歴史コーナーでは昨年百周年を迎えた平野植民地の苦難の歴史

特別価格で販売!! R\$35,00

ご注文・お問い合わせ 詳細はニッケイ新聞社編集部まで 郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマキ ●高野書店

ニッケイ新聞社 (11-3340-6060) 太陽堂 (11-3208-6588) フォノマキ竹内書店 (11-3104-3399) 高野書店 (11-3209-3313)